



萩市須佐地域

公民館だより

令和8年

5月

第634号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 Tel.08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 Tel.08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット



育英小学校入学式当日の新入生5名

《今月の話題》

○元気いっぱい！春休み中の子ども達の活動

- ・のびのび教室・・・・・・・・・・・・・2P
- ・須佐放課後子ども教室・・・・・・・・・・・・・3P

○R8年度「子育て支援日記」テーマ

～卒業後の僕たち、私たちの歩み～①・・・・・・・・・・・・・5P

○公民館奮闘記「102人の証言…」・・・・・・・・・・・・・6P

○「益田館」で五月人形展開催・・・・・・・・・・・・・8P

○表彰席…「須佐ピンポン部」頑張ってます・・・・・・・・・・・・・8P

4月8日（水）、萩市内では各小・中学校が入学式を迎えました、須佐地域では5名の新1年生が加わりました。

令和8年度は、育英小学校が全校児童37名、須佐中学校生徒が27名の計64名でスタートしました。

地域の皆さんも、登下校中の「ながら見守り」やたくさんの方の声掛けなどをしていただき、子ども達が毎日元気で登校し、楽しい学校生活が送れるよう、みんなでサポートしましょう。

春休みの元気な子ども達!

春休みを迎えた子ども達は、地域の小学生とその家族を対象とした「のびのび教室」や須佐公民館を拠点とする「放課後子ども教室」に参加し、いろいろな体験をしました。

のびのび教室



●電気の仕組みを知ろう

3月23日(月)は、須佐公民館で、電池で走る車を作りながら、電気の仕組みについて学びました。参加者は6名でした。

キットの商品を、説明書を見ながら組み立て、その途中で配線をどんな風につなげば豆電球が点くかを実験しました。最初は、直列つなぎと並列つなぎを比べ、どんな配線のつなぎ方で電気が通っているのかを理解してもらいました。

高学年は、一度理解すると、その後は「こうでも電気が点く」「こうしても点く」と、どんどん自分でいろいろなつなぎ方に変えて実験していました。一方、低学年も、高学年から教えてもらいながら配線をつないでいましたが、思うように電気が点かなかったりすると、「なんで点かないの」と言っ、すぐ高学年に



豆電球の配線の仕方を工夫する子ども達

教えてもらっていました。

電気の仕組みを知った後は、車を走らせるように配線を変え、実際に走らせてみました。思うように動かないと配線の仕方や、電池パックが定位置にきちんとはめ込まれているかなどを確認して、車が動くように自分で考えて直していました。

最後は、誰が速く走れるか、また、遠くまで距離を延ばすことができるかを争ってみたりと、楽しそうに遊んでいました。



クロスオーバービークル

●ワクワク春のピクニック!

3月26日(木)は、毎年恒例の「お花見ピクニック」を開催しました。参加者は小学生6名、小学生未満が2名、大人5名の13名です。

朝9時に須佐公民館へ集合し、まずは、みんなでお弁当を作りました。メニューは、すし飯のおにぎり、鶏のから揚げ、卵焼き、ウインナーとキュウリの串さし、ブロッコリー、ミニトマト、人参のきんぴら、そして、デザートのみかんです。

子ども達も、きちんと手を洗って手袋をはめて調理しました。



人参を炒めてきんぴらを作る子ども達

全部のお弁当が出来上がると、いよいよお出かけです。須佐公民館から久原園地までは歩いて約30分、横

へ広がらないよう、ルールを守って、春の陽気を感じながらウォーキングを楽しんでいました。

久原園地に着くと、お弁当を食べる前に、上の展望台へ登りました。傾斜続きで途中、リタイアしそうな



見晴らしのいい展望台で写真撮影

子どももいましたが、周りで声を掛け合いながら、何とか全員登ることができました。展望台では、須佐湾をバックに記念写真も撮りました。しっかり歩いた後は、お弁当タイムです。みんなで一緒に作ったお弁当は、とてもおいしく感じられ、「まだある?」と言って、残ったおにぎりやその他のおかずも分け合い、ほぼ全部食べきっていました。

午後は、帰りの時間まで遊具で思いつき遊びました。残念ながら桜はまだ開花してませんが、ポカポカ陽気の中、ピクニックを満喫できた一日でした。

須佐放課後子ども教室

●将棋教室

須佐公民館で活動している放課後子ども教室は、春休み教室を3月18日（水）から4月8日（水）まで、平日の毎日午後、開催されました。

3月30日（月）には、斉藤精さん（本町下）にご指導いただきましたながら、「将棋教室」を行いました。斉藤さんは毎回、教えるというより、1対1で対戦しながら、勝ちにつなげていく方法を見つけてほしいようです。しかし、4回挑戦をしたけれど勝てず、とうとう逃げてしまいました。「次は、負けてあげようと思ってたのに……」「先に負けてあげないといけなかったね……」と斉藤さん。今回は、もっと基本から学んだ方がいいかもしれませんね。



次の打つ手を毎回悩む児童

●花壇整備できれいな花を……

3月30日（月）の将棋教室が終わった後、外が暖かいので、「花だんの枯れた花を摘み出よう」と言うのと、しばらく黙っていましたが、その日の参加者は姉弟2人きりだったので、大人が外へ出ると後から着いて出てきました。将棋指導の斉藤さんも手伝っていたが、枯れた花と、花と一緒に大きく育った草も抜きました。

須佐公民館横の花だんは、放課後子ども教室で管理しており、花植え作業も子ども達と一緒にしています。



みんなで枯れた花探し

毎回、きれいな花を咲かせて、地域の皆さんの目を楽しませることができればいいなと思います。横を通られるときには、是非ご覧ください。



斉藤さんとキャッチボール

●R7年度、最後のお楽しみ会

3月31日（火）は、毎年恒例の「お楽しみ会」。おやつ作りと、令和7年度の反省会を行いました。まずは、おやつ作りからです。

今回は、パイシートを使った「クロワッサンドーナツ」を作りました。



おいしそうなドーナツ

解凍したパイ生地を1枚ずつにはがし、片方に溶き卵をハケでぬって2枚重ね合わせ、めん棒で縦、横に延ばします。ドーナツの型などを生地に乗せて型抜きをし、レンジで焼きます。そうすると、生地がふくらみ、香ばしい香りが部屋中に広がりました。最後に、膨らんだ生地の片面に溶かしたチョコをつけ、色とりどりのチョコスナックをトッピングすれば、出来上がりです。早速試食タイム。あつという間にお皿に盛り付けたクロワッサンドーナツがなくなり、「まだ食べていい？」と、盛り付けられなかった残りのドーナツも食べていました。おやつの時間の後は、令和7年度の放課後子ども教室の反省会を行いました。1年間、教室に参加してくれた子ども達に、反省と新年度の思いを語ってもらいました。

令和7年度の反省

■泣きすぎて困らせてしまいました。来年度は、泣かないようにしたいと思います。（小2男子）

■今年は、あまり来れなかったけれど、次はたくさん来たいです。（小5女子）

■みんなと一緒に遊ぶのが楽しかった。（小4女子）

スタッフから

■今年はいろいろあったけれど、次年度はみんな仲良く、たくさんいいことをして過ごしましょう。



吉田館長からは、「今度は、外の方へも出ていけたらいいね。とにかく、楽しい放課後子ども教室にしよう」と挨拶されました。皆さん、令和8年度もルールを守って、また、元気に教室へ参加してください。



令和7年度 最多日数参加児童へ
須佐公民館長から粗品を進呈

生き活き教室

断念したお花見…

つどい室



今年の桜は、昨年より少し開花が遅く、入学式には満開できれいでした。毎年、新年度初のつどい会には「お花見」に松崎八幡宮横の公園の桜を見に行くのですが、4月1日（水）当日は、まだつぼみの状態で、お天気も悪かったため、須佐公民館でお花見ランチを楽しむ会に変更しました。



すし飯でおにぎりを作る参加者

今回もポリウレタン満点ランチでした。デザートは、種を取った干し柿で長芋をつつんで



油で揚げた天ぷらでした。干し柿の甘さとしやしきやきの長芋の食感が楽しめるデザートとなりました。また、保健師の赤岩さんの後任で来られた池田さんも一緒にランチを楽しみました。みなさん池田さんに興味津々でたくさん話しかけられて、楽しそうにランチの時間を過ごしました。

午後からは、ボードゲームを使って、少し脳トレをしました。

3つのテーマに分かれ、

「瞬発力・判



脳を活性化させるボードゲーム

断力を鍛えるチーム」「指先への力の加減・狙いを定める空間認識力を鍛えるチーム」「洞察力・観察力を鍛えるチーム」に分かれました。言葉にすると難しく感じますが、手持ちのカードで中華のメニューを素早く組み立てるカードゲームやペンギンを氷のブロックから落とさないように氷ブロックをハンマーで落とすゲーム、見えないようにさいころを振って相手にばれないようにその数字をいうゲームといった簡単なものなので、皆さん和気あいあいと楽しんでいました。

公民館教室

花束をモールで…

須佐あおば勉強室・閉講式

令和7年度最後の教室を、3月24日（火）須佐公民館で開催しました。内容は、昨年度も行ったモール工作です。今回は、花束を作りました。

花束と言ってもたくさん作ると時間が足りなくなるので、2種類の花を作ってラッピングする予定でした。簡単なところから一つひとつ試演しながら説明して勧めようとするのですが、一番簡単な葉っぱを作るところから「え、どうやるの?」「もう一回やって!」と難航する参加者。反対に、「次は!」と叫ぶ参加者も



おしゃべりしながらモール工作を楽しむ参加者

なので、早く一つの工程が終わった人は、周りでもまだ出て来ない人のを手伝ってもらおうことにしました。

葉っぱの

作業が終わると、今度は花の部分。小さい花が5本と大きな花を2本作ります。だんだんできる人とできない人の差がついてきて、時間までに花が全部作れた人と少し残った人がいました。花はできそうなので、ラッピングの方法を説明をして終わりました。



【令和7年度閉講式】

閉講式では、年10回開催中、9回参加された、本尾幸子さん（野頭）と豊田育美さん（浦西）の2名に賞状と粗品を送りました。

令和8年度も5月からスタートします。楽しい企画を計画していますので、皆さん声を掛け合って、参加されますようお願いいたします。



一方では、無心で花を作成する参加者

子育て支援日記

テーマ／卒業後の僕たち・私たちの歩み

「つながりを大切に」

緒方裕哉（入江出身）

今年度は、平成22年に須佐中学校を卒業され、今年32歳になられる皆さんに、中学校を卒業してから今日までの歩みを通して、次代を担う若い世代へ伝えていきたいことを語っていただきます。

私の中学校時の同級生は28名で、当時一番多いクラスでした。大学へ入っても中学校の友達とは、ずっとつながりを持っていて、須佐へ帰った時には、いつも友達と集まるなど、今でもいろいろなつながりを保っています。そんな私は、九州の大学を卒業後、そのまま福岡に残りトヨタカローラへと入社しました。今の会社に入社してからこれまでを振り返ると、決して順風満帆ではなく、むしろ試行錯誤の連続だったと感じています。

私はトヨタの営業職として働いていますが、最初の頃は「営業」という仕事に対するイメージと現実とのギャップに戸惑うことが多くありました。車の知識はもちろん、お客様

との会話の進め方や信頼関係の築き方など、覚えることが多く、思うように成果が出せない日々が続きました。特に印象に残っているのは、初めて商談を任されたときのことです。緊張のあまりうまく話せず、お客様のニーズを十分に引き出せないまま終わってしまい、自分の力不足を痛感しました。

また、営業という仕事は単に商品を売るだけではなく、お客様一人ひとりの生活や価値観に寄り添い、その方にとって最適な提案をすることが求められます。そのため

には、自分本位ではなく、相手目線で考える力が必要であり、それを身につけるまでには多くの失敗と反省がありました。



しかし、先輩方のアドバイスや実際の経験を積み重ねる中で、少しずつ「お客様に信頼される営業とは何か」を理解できるようになっていきました。

そんな中で感じる仕事のやりがい、お客様から「あなたから買ってよかった」と言っていただけたときです。車は決して安い買い物ではありません。その大きな決断に自分に関わり、信頼して任せていただけたということは、とても責任が大きい反面、大きな喜びでもあります。また、購入後も点検や乗り換えの相談など、長くお付き合いが続いていく中で、お客様との関係が単なる「売り手と買い手」を超えたものになっていくことに、この仕事の魅力を感じています。

人とのつながりという点でも、この仕事を通じて多くの出会いがありました。職場の先輩や同僚はもちろん、お客様から学ぶことも非常に多くあります。異なる業種や人生経験を

を持つ方々と接することで、自分の視野が広がり、人として成長できていると感じています。また、困ったときに支えてくれる仲間存在も大きく、チームで成果を出すことの大切さを実感しています。

切さを実感しています。

現在の仕事の内容としては、新車・中古車の販売だけでなく、保険の提案やアフターサービスのフォローなど、お客様のカーライフ全体をサポートする役割を担っています。日々の業務は決して楽ではありませんが、その分、一つひとつの成果が自分の自信につながっています。

最後に、これから社会人になる後輩の皆さんへ伝えたいことがあります。それは、「失敗を恐れずに挑戦してほしい」ということです。社会に出ると、うまくいかないことや壁にぶつかることは必ずあります。

しかし、その経験こそが自分を成長させてくれます。また、人との出会いを大切にしてください。どんな仕事であっても、人とのつながりが自分の力になります。最初は不安も多いと思いますが、一歩ずつ前に進んでいけば、必ず自分なりのやりがいや目標が見つかるはずです。皆さんのこれからの活躍を心から応援しています。

自分事ですが、今私は、結婚をし福岡市内に家も建て、そして友達ともずっといい関係を持ちながら、順風満帆な人生を送っています。





旧 須佐町中央公民館

次代に伝えたい

102人の証言から②

じいちゃんのつらさ...

須佐中学校2年 Tさん

7月28日の豪雨災害で私のじいちゃん、田んぼをなくしてしまいました。豪雨の直後のじいちゃんは、少し怒っていて、ショックそうな顔でかなしそうな顔をしていました。しばらくは、家でずっとテレビを見ていた時もありました。じいちゃんは、田んぼを見てはつらそうな顔をしていました。

災害から5、6、7ヶ月たってから、田んぼを少しずつきれいにしました。溝の上をすべり出し、ゴミや土の塊を取り出したりしました。私も手伝いを少ししました。手伝いをした時、じいちゃんの気持ちのつらさと、苦しさが分かったような気がしました。じいちゃんは、自分の田

んぼが早くできるようにぶつぶつ言いながらですが、一生懸命取り組んでいました。その姿がとてもすごかったです。根性と気合と一生懸命さなどが見えました。私もこうゆう人になりたいと思いました。

災害から8ヶ月たった今も、田んぼが石や土でたくさんですが、少しでも早く田んぼができるように祈っています。じいちゃんの作ったお米の炊きたてご飯が食べたいです。そのためにじいちゃんの手伝いをして、じいちゃんのためにも働きたいと思っています。

被災して今思う

弥富地区 Fさん



あの日私の家は、集中豪雨によって一瞬の内に平和な生活を奪われました。山崩れと川の上流から押し寄せた土石流にのみこまれ、家の周辺は埋まり床上は浸水後のヘドロ

で足の踏み場もない有様でした。炊事も洗濯も眠る所さえ無く、文字通り生活の場を失った私達でした。生のどん底に沈んだ時、地区の方々が全員で除石や清掃作業に来て下さいました。機械のユンボも入れて、忙しい中2日も3日も奉仕を頂きました。そして、女性部の方は炊出しや夕食のおかず、野菜の差し入れ等種々心配して下さいました。

また、ボランティアの人々が、毎日あの強烈な夏の日差しの下、汗と泥にまみれながら床下のヘドロを運びだし、山のように積み上げて下さった土嚢の袋・・・その一つ一つに込められた温かい心が、今も思い起こされ感謝の念でいっぱい

です。人のために尽くす心、この清らかな心に触れて、生きていく勇氣を与えられました。今思えば私の居住地は、以前から土石流の危険地域に指定されていました。少し耳が不自由な私は、そんなに大量な雨が降ったとも知らず、気付いた時は、家の周囲は一面の水流に囲まれていました。今なら逃げられると思い、道路まで上がる途中激しい洪水に車ごと流されそうになりました。もう一分遅れていたなら、また夜であたりがよく見えなかったら、おそらく

命はなかったと思われる。避難に向う道中は、大量の水が上から滝のように流れ落ちていました。数分後その箇所は大規模なげ崩れのため通行不能になった場所でした。

今私の家族がささやかながら、現在の生活が営めるようになったのは、各方面からの種々な支援や地区の人々との深い絆、ボランティアの方が残された忘れぬ言葉「元気で頑張って下さい」との励ましがあつたからだと思います。主人も私も高齢となりましたが、次世代を生きる若人のためにも、1日も早い郷土の復興を願い止みません。



7/28 弥富地区新市

ぶらぶら
タムラ

まち
の
あるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶら
タムラが、わが町を紹介します。
今回は、前回に引き続き「禁門の
変と須佐」須佐兵達の活躍を紹介し
ます。

鷹司邸で激戦

さらに、山崎に陣を構えた真木和
泉、久坂玄瑞らが指揮する一隊 300
人は彼等にとつては恨みの堺町門
(8月18日の政変までは、長州藩が
この門の警備をしていたが、この変
で、会津・薩摩藩等が長州藩を排除
した)を一挙に突きました。

彼等は先ず前関白鷹司(たかつか
さ)邸に乱入し、桑名・彦根・越前藩
兵と砲撃戦を交えました。この時、
鷹司邸の壁を破るため会津藩の巨
砲15ドエム砲(口径15cm)が数発も
炸裂しました。その雷のような爆音
と地響きに、日頃穏やかな殿上人

(てんじょうびと)は皆ふるえあが
ったと言われています。



激戦があった京都御所鷹司邸跡

このため、鷹司邸は猛火に包まれ、
久坂玄瑞や入江九一、田村育蔵達は
重傷を負ってついには、自刃しまし
た。真木和泉も負傷し、やっとの事
で山崎まで逃れました。

須佐兵の一部が

久坂玄瑞と共に突入

残るは益田親施の指揮下の600人
でした。彼等は、石清水八幡宮に武
運を祈って、天王山口から出陣しよ
うとしていましたが、相次ぐ敗報
によって隊中は浮き足立ち、遂に
次々と西方へ逃げ出して行きまし

た。禁門の変を記した「回天実記」
によると、増野又十郎が率いる一隊
が、久坂玄瑞に従って、境町御門の
戦闘に参加しています。鷹司邸に入
っているのが、小国融蔵軍監、大谷
樸助(※斥候使者)、田村育蔵、河上
範三等がこの中にいました。この須
佐隊は、組士、遊軍半隊、町兵、新
撰隊半隊を合わせて。増野又十郎が
司令官となり、久坂玄瑞の軍に従っ
て、果敢に戦ったと記されています。

※斥候(せつこう)本隊の移動に先
駆けてその前衛に配置され、進行方
面の状況を偵察しつつ敵を警戒す
る任務をいう。

須佐兵参戦の様子

記録によりますと戦いは次々と
届く敗戦の報告で、益田家上士の益
田丹下(橋詰益田)は、益田親施公

に度々進言して、「軍を徹して帰国
すべき」との議を發したので、つい

に親施公も撤退を決意した、と言わ
れています。そして、わずかな手勢

を率いて、山崎から大阪へと退去し
ました。ここで須佐兵はどのように、

この戦いに参加したのか検証して
みます。記録は、須佐の増野又十郎

が率いる一隊が久坂玄瑞に従って、
京都御所堺町御門に達して戦闘に

参加し、活躍をしています。

「久坂義助(玄瑞)各藩浪士ヲ指
揮シテ、竹田街道ヨリ進ミ、鷹司邸
ニ入ル。小国融蔵(第5代育英館館
長)軍監、大谷樸助(斥候使者)、田
村育蔵(役目不詳)、河上範三等此ノ
中にアリ。我が須佐兵ハ組士、遊軍
半隊、町兵新撰隊半隊ヲ合シテ、増
野又十郎司令官トナリ、久坂氏ノ軍
ニ従ウ」と「回天実記」に記されて
います。

重傷を負った久坂玄瑞と一緒に
切腹しようとしたが、小国融蔵、
大谷樸助に久坂はそれを許さず、後
事を託されたため敵の囲いを破っ
て、天王山まで帰ってみれば、益田
親施公はすでに退去した後であつ
たので、須佐まで苦勞を重ねて帰り
着いたのでした。

なお、京都では、益田親施は逃げ
出したとの評判が残る、後々尾を引
くことになりましたが、前項で紹介し
たように、その時の親施の役割は、
定広公(藩主敬親の子)が、三田尻を
出航し、京都に向かったことを差し
止めるために先を急いだのだと言
われ、当時の汚名を正していかなく
ればならないと元須佐郷土史研究
会会長西村武正さんは訴えておら
れました。

地域トピックス

児童が楽しく

ブロックペイント！

発足15年目を迎えた「海の森をつくる会」。育英小学校でブロックペイントの活動を4月14日に行いました。今年から全児童が参加で、タコやイカ、ホルンフェルスなどを思い思いに描き、ブロックを彩りました。4月17日（金）には、須佐中学校の2年生が、胞子の付いたアカモクをブロックに結び、海へと投げ入れました。

この藻場再生の取り組みは、子ども達

も達が自然の循環を学び、郷土の海に愛着を持つ大切なきっかけとなっています。



いろいろな色で海の生き物などを描く児童たち

五月人形展開催



毎年この時期、須佐歴史民俗資料館『益田館』にて、住民の皆様から寄贈していただいた五月人形の展示を行っています。今年は、左記の日程で開催しますので、皆さん是非、会場へお越しください。

○展示期間

4月28日（火）
～6月7日（日）



●問合せ先

須佐歴史民俗資料館「みこと館」

☎63916

表彰席

生涯スポーツ団体

『須佐ピンポン部』

4月12日（日）萩ウエルネスパーク萩武道館で、第76回萩市長争奪卓球大会が開催されました。日頃、須佐公民館で活動されておられる「須佐ピンポン部」が大会へ出場されました。種目は、一般男子・女子シングルス

試合結果は次のとおりです。

●一般女子シングルス

1部（上級）1・2位グループ

第3位 堀田美穂

2部（中級）

優勝 大野久美子

3部（初級）3・4位グループ

優勝 伊藤美恵子

（記事は「須佐ピンポン部」提供）

今後の活躍も期待しています。



4月1日付 職員人事異動

【須佐総合事務所】

（転入）

■所次長兼市民生活部門総括

宮内良昌

■須佐・田万川地域調整監

平田敏郎

■産業振興部門総括

西川仁了
主任 村上一樹

■市民生活部門保健師 池田英彰

■須佐保育園 岡田優美香

■須佐田万川学校給食共同調理場 佐々木知美

よろしく

お願いします



（退職）

□赤岩 香（市民生活部門保健師）

□寺田啓子（須佐田万川

学校給食共同調理場）

お世話になりました



生涯学習作品コーナー

【俳句】

春暁や後ひと眠りと寒き朝

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

梅さくら椿にスイセン咲き乱れ

海はさざなみよせ春うらら



(青葉台) 田村雅利

争いも氣象異常も屈折なく

花満喫の自然に感謝す



(山根丁東) ゆめはるか

おもしろ学級「習字教室」の作品



※皆さんから、お気に入りの一品(作品や写真、我が家のお宝などの情報をお寄せください。

(問合せ) 須佐公民館 ☎02310まで



大塚 均 (1911-1998)

SL 切手シリーズ D51・C57

SLシリーズ切手は、蒸気機関車(SL)を題材にした記念切手シリーズです。1974年から1975年にかけて発行されたものがあり、全10種で構成されています。

第1集は、日本を代表するSLとして知られるC57形と、貨物輸送で活躍したD51形が描かれています。力強いD51と美しいC57のコントラストが魅力的です。

昭和49年11月26日20円、記念切手が発行された。大塚均63歳筆の作品です。



このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

須佐の偉人伝 大塚均

110

2026		5月 地域カレンダー		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 ☺=生き活き教室 学=学校・保育園行事 ♣=スポーツ関係 保セ=保健センター 子=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド		
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
 ゴールデンウィークを 有意義に過ごそう！					1	2
③ 憲法記念日	④ みどりの日	⑤ 子どもの日	⑥ 振替休日	7 須 習字教室 10:00	8 ♣ 手芸クラブ 9:30 ♣ 囲碁・将棋 13:30	9 ♣ 花の飾り
10 須 韓国カフェ 13:30 🌸 母の日	11 須 スマホ相談所 8:30 ♣ エコクラフト 9:30 ♣ 麻雀クラブ 13:00 ♣ ピンポン・ポッチャ 13:30	12 須 パッチサークル 9:30	13 ♣ つどい会 10:00 須 色えんぴつ画 13:30 須 スマホクラブ 13:30	14 須 さつき学級 8:15 ■ 無料法律相談 (保セ)	15 ■ 行政相談 (須佐)	16 ♣ 育英小親子作業
17 家庭の日	18 ♣ 麻雀クラブ 13:00 ♣ ピンポンクラブ 13:30	19 須 あおば勉強室 13:30 ■ 心配事相談 (弥富)	20 ♣ 歩こう会 8:45	21 🌼 花の飾り	22 ♣ 手芸クラブ 9:30 ♣ 囲碁・将棋 13:30 ♣ 保育園奉仕作業	23
24 ■ クリーン大作戦 (地域内全域)	25 須 スマホ相談所 8:30 ♣ エコクラフト 9:30 ♣ 麻雀クラブ 13:00 ♣ ピンポン・ポッチャ 13:30	26 須 パッチサークル 9:30	27 須 色えんぴつ画 9:30 弥 グラウンドゴルフを楽しむ会 8:30 ♣ 音楽療法 13:30	28	29 🌹 花の飾り	30 ♣ 小・中合同運動会 (育小)
31						

須佐ソフトバレーボール大会

○日時 6月7日(日) 8時30分～
○場所 須佐中学校体育館

弥富グラウンドゴルフ大会

○日時 6月7日(日) 8時30分～
○場所 弥富グラウンド

※上記スポーツ大会の詳細は、回覧チラシをご覧ください。

伝言板

●須佐あおば勉強室

「園芸教室 多肉植物を育てよう」

○とき 6月16日(火)

午後1時30分から

○ところ 須佐公民館

○講師 石田正明(萩市)

○持ち物 材料費1500円

使わない箸、持ち帰り袋

○申込み 6月9日(火) までに
須佐公民館 ☎ 2310へ



編集後記

今年もピカピカの1年生が入学してきました。今から60数年前の私もその一人でした。当時の入学式はなぜか母親たちは和服の上にお揃いの婦人会服を着ていたことと樟脳(防虫剤)の匂いを思い出します。

この婦人会服(濃い緑色の上っ張り)は、戦後、子ども達の入学式や卒業式などに婦人が出席する時に羽織ったもので、高度経済成長により服装がだんだん華美になってきたので、婦人会の申し合わせにより作られたと言われており、昭和40年代後半まで着用されました。

毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『17日』です
★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R8.3月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	908戸	1,580人	(△8人)
弥富	204戸	379人	(△2人)
合計	1,112戸	1,959人	(△10人)

昨年比 世帯数△19人 人数△56人